

平成 22 年度小笠原諸島森林生態系保護地域保全管理委員会  
第 2 回保全管理委員会 議事概要

平成 23 年 3 月 9 日（水） 15 : 30~17:30  
小笠原村地域福祉センター 2 階会議室

- 1 オガサワラノスリのモニタリング結果について  
世界自然遺産に登録された場合は、利用頻度が増加する可能性があるため、来年度も月 1 回のモニタリングを実施する。
- 2 聳島ルートの試行状況について  
オガサワラスナハキバチの営巣地の調査が行われていないことなどの理由から、試行期間を 9 月まで延長する。
- 3 平成 22 年度固有森林生態系の修復事業等の実施結果及び平成 23 年度の事業予定について
  - ・シロアリについては、間違った認識が広まらないように、様々な配慮を通して情報を正しく島民全体に説明することが、林野庁の事業に対する理解を深めてもらえる方法だと思う。
  - ・定着してしまった昆虫の根絶は無理なので、シロアリから居住地域を守る以外にないのではないかと。
  - ・修復事業については、住民にも分かるように方針を示し、成果を還元してほしい。
  - ・森林を再生する方法は様々なので、順応的に実施してほしい。
- 4 人工水場の取扱いについて
  - ・母島では水が常にあるところはないので、人工水場は島たちにとって非常に重要な場所だと思う。
  - ・人工物が設置してあること自体が嫌だという観光客が増える可能性もあるので、利用ルートから見えない箇所に設置するほうが良い場所もあるかもしれない。
- 5 小笠原諸島におけるモデルプロジェクトの森について
  - ・セグロミズナギドリは、現時点では東島と南硫黄島しか繁殖地は見つかっていない。
  - ・外来種駆除は、少しずつ丁寧と一緒に進めさせてほしい。